

**決算補足資料**  
**平成28年12月期**  
**第1四半期**

**株式会社カイオム・バイオサイエンス**

**2016年5月13日**



Copyright © 2016 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

**MOthers**

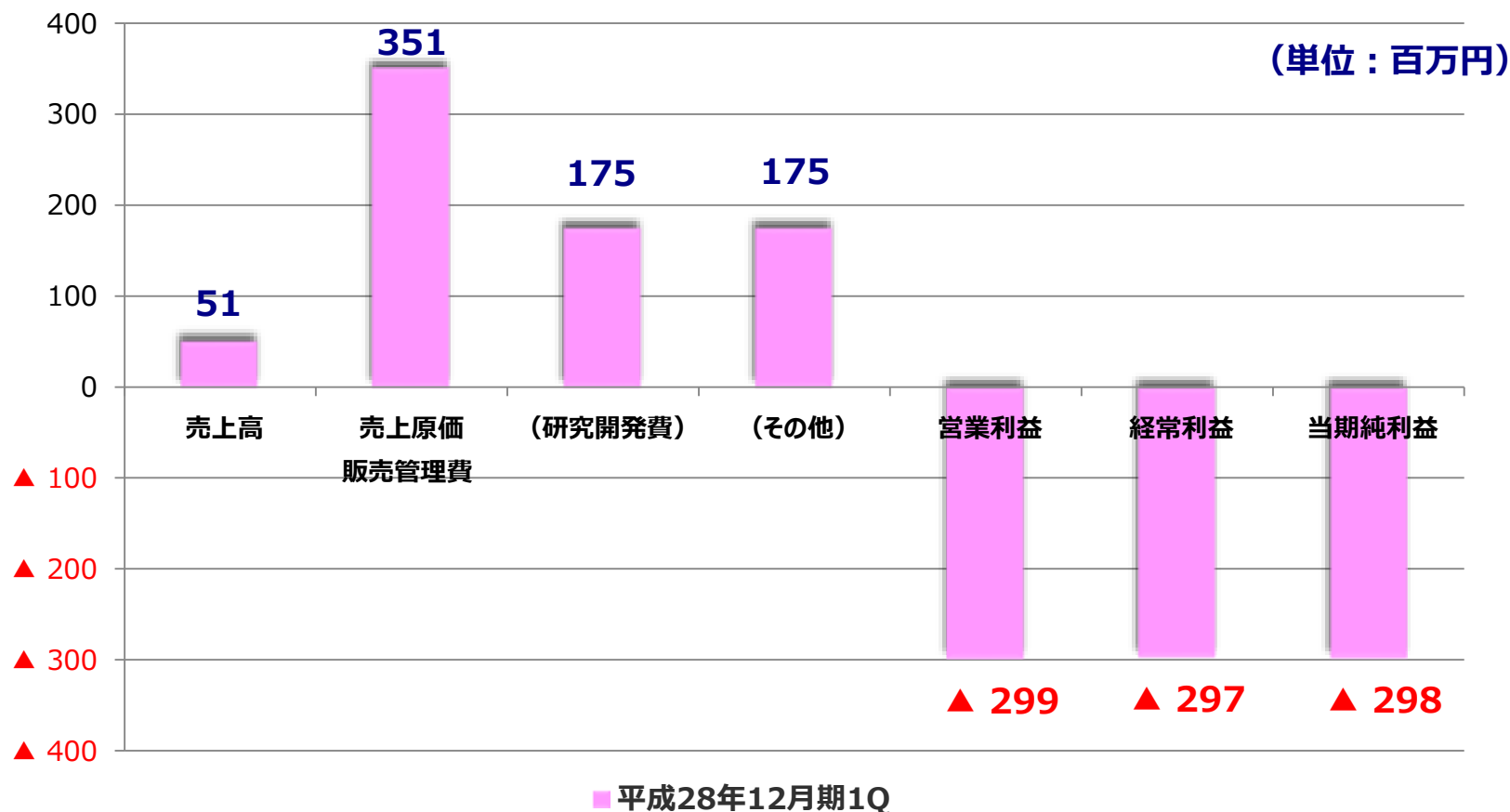
**証券コード：4583**

## ◆平成28年12月期業績

## ◆経営概況



# 業績: 損益の状況



※前第1四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成しておりましたが、当第1四半期累計期間は単体の四半期財務諸表のみを作成しているため、当第1四半期累計期間のみを記載しております。

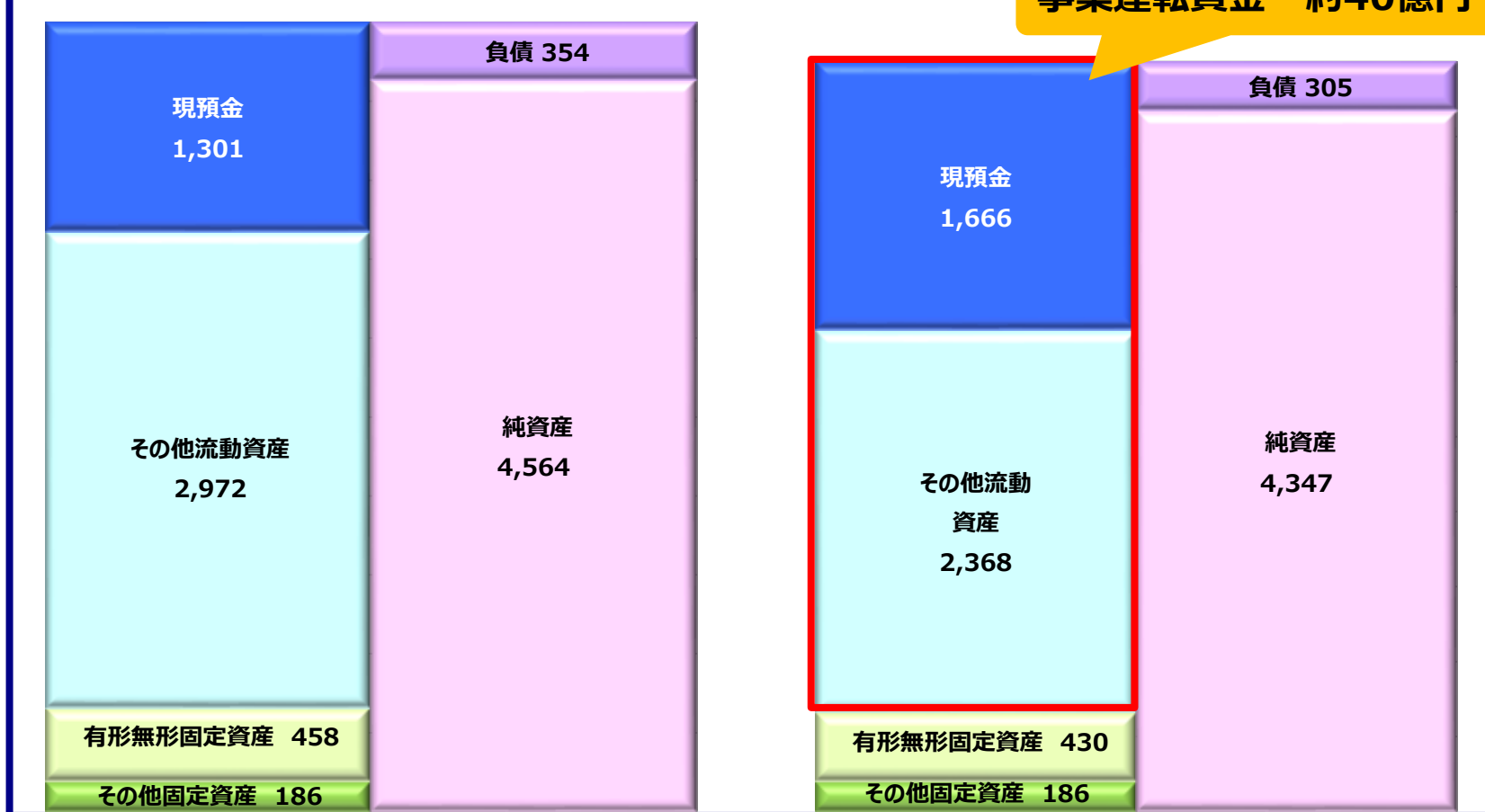
# 業績: 貸借対照表の状況

(単位: 百万円)

平成27年12月期末

平成28年12月期 第1四半期末

事業運転資金 約40億円



※平成27年7月1日付で、唯一の連結子会社の株式会社リブテックを吸収合併し、連結子会社が存在しなくなったため、カイオム単体の状況を示しております

◆平成28年12月期業績

◆経営概況



## ➤ 【事業開発の状況】

- ✓ 国内大手製薬企業等との新規抗体作製ビジネスを開始。
- ✓ 新たな顧客および社内プロジェクトにおいて困難抗原に対する抗体作製を実施中。
- ✓ がん治療用抗体を目指すLIV-1205（ヒト化抗DLK-1抗体）およびLIV-2008b（ヒト化抗TROP-2抗体）はスイスのADC Therapeutics社（ADCT社）とAntibody Drug Conjugate（ADC：抗体薬物複合体※）での全世界における独占的な開発・販売権に関するオプションライセンス契約を締結。

※ADC（抗体薬物複合体）は抗体と薬物を結合させ、抗体の抗原特異性を利用して薬物を疾患部位に効率的に行き届かせることを目指した医薬品

## ➤ 【研究開発の状況】

- ✓ ADLib<sup>®</sup>システムの技術改良、および完全ヒトADLib<sup>®</sup>システムを用いた抗体作製プロジェクトを実施中。
- ✓ 医療用抗体の作製・開発を継続。実績を蓄積中。

### ➤ 【創薬事業】


- ✓ LIV-1205およびLIV-2008bは、ADCT社とADC開発用途でのオプションライセンス契約を締結し、現在ADCT社で評価中。
- ✓ LIV-1205 (naked抗体)、LIV-2008、抗セマフォリン3A抗体 (BMAA) のライセンス契約の獲得のため積極的に活動中。

### ➤ 【創薬支援事業】

- ✓ 中外製薬グループ：共同研究・委託研究を継続的に実施中。
- ✓ 富士レビオ：オリジナルADLib<sup>®</sup>システムの技術導出の実績。

ライセンス料、ビタミンD測定キットの販売に伴うロイヤルティの受領。  
ADLib<sup>®</sup>システムを用いた新たな製品創出に向けた研究開発活動を継続中。

# パイプラインの開発状況

プロジェクト	標的分子	適応	基礎・探索研究			前臨床試験	臨床試験	提携先
			ターゲット選定	創薬シーズ獲得	リード最適化			
LIV-1205	DLK-1	がん/Naked	▶					導出活動中
		がん/ADC	▶					
LIV-2008	TROP-2	がん/Naked	▶					導出活動中
LIV-2008b	TROP-2	がん/ADC	▶				2016.3.14 新規OP契約締結	 ADCT社
BMAA	SEMA3A	未定	▶					導出活動中
新規PJ	非開示		▶					



# がん治療用抗体LIV-2008b のオプションライセンス契約



LIV-1205に続き、LIV-2008bもADCT社とOP契約を締結

## ADC Therapeutics社

2016.3.14  
新規OP契約締結

- ◆ 本社はスイス。ADC抗体の開発実績多数。
- ◆ ADC領域で、全世界の、独占的な、開発・販売のオプション権を付与。



- ✓ 本オプションライセンス契約の締結時に契約一時金を受領。
- ✓ ADCT社がオプション権を行使しライセンス契約を締結した場合、ライセンス契約一時金を受領。
- ✓ 開発の進捗に応じたマイルストーンペイメントを受領。
- ✓ 製品上市後には製品の売上高に応じたロイヤルティも別途受領。

# LIV-1205・LIV-2008/2008bのプロファイル

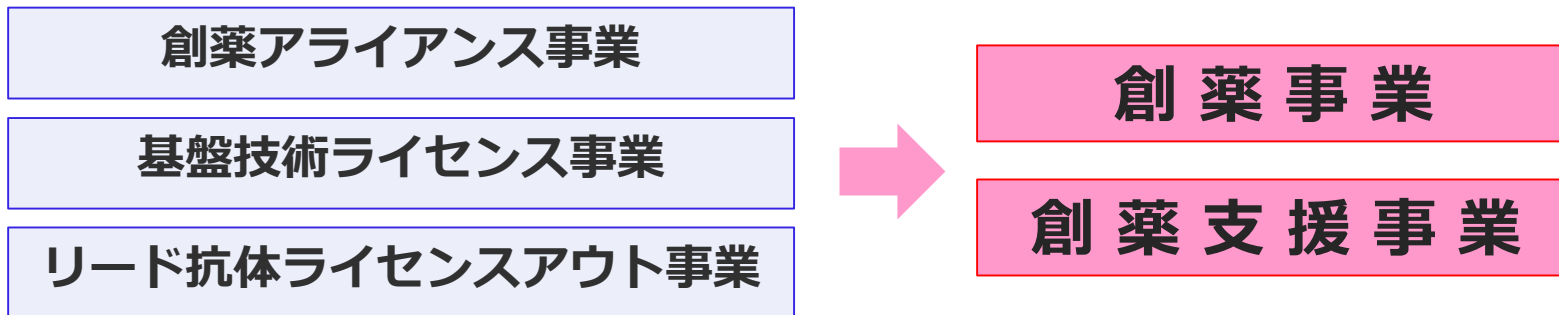


	LIV-1205 (ヒト化抗DLK-1モノクローナル抗体)	LIV-2008/2008b (ヒト化抗TROP-2モノクローナル抗体)
ターゲット	DLK-1	TROP-2
適応疾患領域	肝臓がん等	固形がん
特徴	既存薬と比べて副作用が少ない治療薬となる可能性	TROP-2は、様々な固形がん組織で顕著に発現しており、がん治療の標的として注目されている
期待	難治性がんを標的としたファースト・イン・クラスの治療用抗体候補	多くの固形がんをターゲットとしたベスト・イン・クラスの治療用抗体候補
Naked抗体	動物モデルでの単独投与試験で顕著な腫瘍増殖阻害効果を示す	動物モデルでの単独投与試験で、複数のがん種において、顕著な腫瘍増殖阻害効果を示す
ADCの適性	インターナリゼーション※活性有り	インターナリゼーション活性有り (LIV-2008b)

※インターナリゼーションとは、抗体が抗原と結合後、細胞内に取り込まれる現象

# セグメントの変更

当社は本年1月1日より、今後の新たな事業展開と連動させ報告セグメントを以下のとおり変更いたしました。



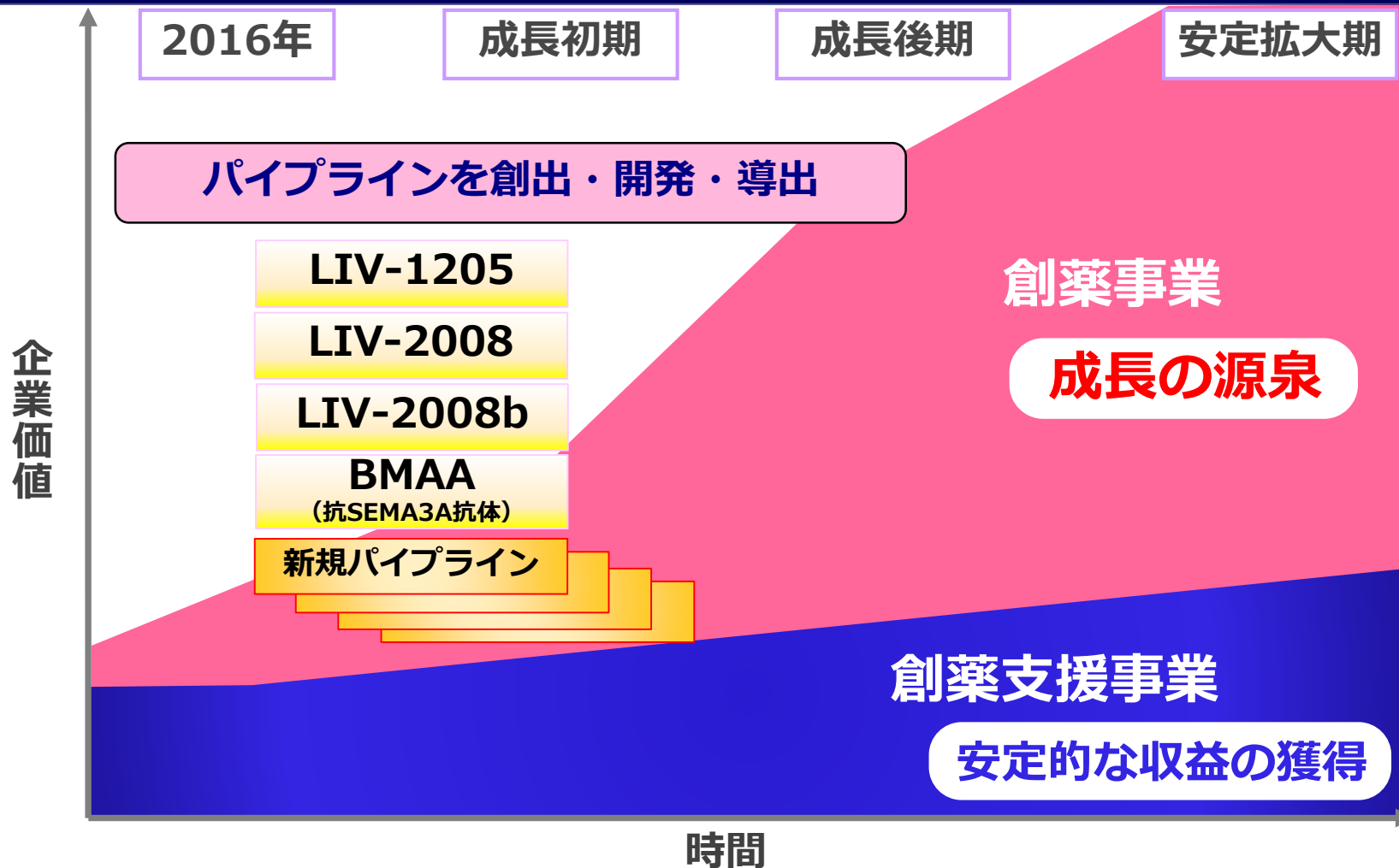
## 創薬事業

創薬事業は、当社の研究の成果物である医療用抗体作製のための基盤技術やリード抗体等の知的財産を活用したライセンスの導出に係る一時金収入、マイルストーン収入及びロイヤリティ収入、並びに共同研究等に係る収入等を獲得する事業です。

## 創薬支援事業

製薬企業等で実施される創薬研究を支援するために当社で抗体作製関連業務を請け負い収入を獲得する、または研究用並びに診断用抗体の作製のための基盤技術を提供し収入を獲得する事業です。

## 成長の源泉となる創薬事業への集中投資と成果創出の促進



## 事業資金の確保および選択と集中による投資効果の最大化

創薬支援事業の促進による安定的に事業資金確保。

企業価値拡大に向けた初期臨床開発コスト捻出のため、  
筋肉質な組織の構築。

- 厳選したアンメット・メディカル・ニーズの高い創薬テーマに注力し、ライセンス契約獲得に必要なデータ構築に集中。
- 希望退職による社員数適正化の実施。

## 新たな医療を待ち望む世界中の人々のために

第1  
ステージ

我々は、遺伝情報の多様性に基づく新たな創薬技術を持続的に創造する。

第2  
ステージ

我々は、革新的医薬品を創出する。

第3  
ステージ

我々は、医療に革新を起こす。

**「より高付加価値なビジネスモデルへの転換」を目指します！**

## 人類社会への貢献のため、

# 100%の治療効果を追求する ヘルスケア・イノベーター

## を目指します！

### ビジョン実現に向けた重要課題

2018年 パンデミック感染症対応

2023年 究極のオーダーメイド医療の実現



## 倫理性と透明性

Ethics & Transparency

## 進化と創造

Evolution & Creation

## 交差と交流

Chiasma & Global Exchange

常に人命を最優先に考え、健全で誰からも愛される企業に！  
個人と企業のたゆまぬ成長により、常に未来を創造する企業に！  
地域と領域を超えた可能性を追求し続ける企業に！





- 本資料は、株式会社カイオム・バイオサイエンス（以下、当社という）を御理解頂くために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されている将来の見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因の変化等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。
- 将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさを内在しております。
- 今後、新たな情報や将来の出来事等が発生した場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新、修正を行う義務を負うものではありません。